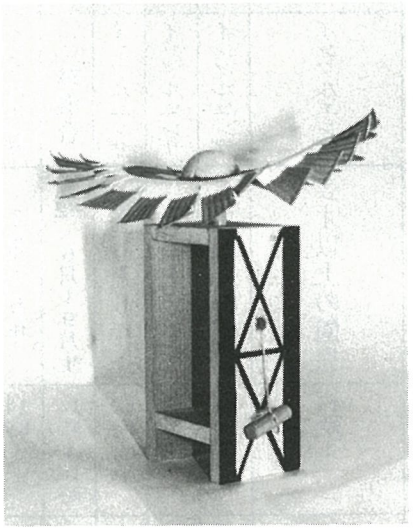
3年　加藤　純子さん

円ばんをつくっても、円ばんには見えなくて、こまりました。でも「金しよう」でよかったです。

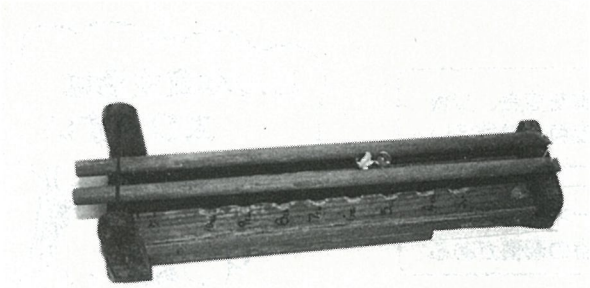


〔空とぶ円ばん〕

4年　大木　一久くん

星の明るさに合わせて、周りにあけたあなを大きくしてみました。

〔プラネタリウム〕



〔ビー玉　落しゲーム〕

5年　岡島　成江さん

むずかしかった所は、ちょうこくとうであなをあけた所です。

〔ビタミンC調べ〕

6年　平山　和実さん

普段、食べている食物の中には、どれぐらいのビタミンCが含まれているのか調べました。

ひかり俳壇

森の闇さらひて走る稲びかり　秋山　一泉（野栄町）

流燈の果てて潮の香残りけり　布施　和代（二　又）

大の字に寝て新涼をむさぼりぬ　伊藤　幸枝（尾垂六区）

癒えし子に笑顔もどりぬ萩の風　越川せつ子（篠本三区）

影も亦残暑の中の独りかな　伊藤　定男（尾垂五区）

難聴の夫に高まれ虫しぐれ　鈴木　都根（橋　場）

蜩の声を浴びつつ磴くだる　大木静波子（篠本二区）

秋暑し一期一会の出合ひかな　土屋　義昭（虫　生）

早稲熟るる香や老農の脛細し　鈴木とし子（宝　米）

夏の海齢重ねて遠くなり　椎名　カツ（橋　場）

秋の虹去りゆく昭和まなうらに　椎名しげる（橋　場）